

私たちの「共同参画推進プラン」3つの目標

市共同参画プラン審議会委員の皆さんに聞きました。



✓ 誰もが働きやすくチャレンジしやすい社会の実現

行政や企業、地域における方針決定過程に女性の意見も反映されるよう、女性管理職の登用拡大や参画を促進します。また、ワーク・ライフ・バランスを支える環境を共創し、誰もが充実した毎日を過ごせる社会を目指します。

家庭での役割が誰か一人に偏っていませんか。見直すことで家族が新しくチャレンジしたいこと、できることが見えてくるかもしれません。



石川県社会保険労務士会
小松支部員 堀川 祐二郎 さん

他人と違う個性を自分から発信できる社会にするためには、誰かのしたいことを否定するのではなく、受け入れることが大切だと思います。



市校下女性協議会 前会長
西田 頼子 さん

✓ 安心・安全で暮らしやすい社会の実現

暮らしやすさや生涯にわたる健康維持への支援を推進します。また、あらゆる暴力の根絶と共同参画の視点に立った防災・減災を強化します。

小松市は同行通訳を受けられるなど、外国人も住みやすいまちです。多様な人材が活躍できるよう働く職種が広がると思います。



市国際交流協会 相談員
山中 ナタリア さん

市営プールは市内外の障がいのある人への減免制度があるほか施設がバリアフリーになっているなど、みんなに優しい環境が整っています。



市スポーツ協会 理事
城下 映美 さん

✓ ダイバーシティ社会の実現

ダイバーシティ社会とは、性別や国籍、年齢などに関わらず、多様な個性や能力を発揮し、共生できる社会です。実現のためには、共同参画の意識を育む教育・学習機会の充実も重要です。

子供の個性や自信を育てるには、ありのままを受け入れてくれる人と、その子にあった場所が必要です。私たち大人が環境を整えてあげましょう。



公立小松大学 准教授
木村 誠 さん

まだ能力を発揮できずにいる人たちが活躍するためには、人を一面で判断せず、広い心で思いやりを持って受け入れることが大切です。



市社会福祉協議会 会長
土中 伊佐男 さん

6月23日～29日は「男女共同参画週間」です。

市では、多様性を認め合い、誰もが活躍できるまちを目指して「第5期小松市共同参画推進プラン」を策定しました。みんなが輝ける社会にするにはどうしたらいいのか、この機会に考えてみませんか。

問い合わせ 地域振興課 ☎24・8397

「男だから、女だから、じゃなく "私"を認め合う社会」



市における「共同参画」とは、性別や年齢、国籍、障がいの有無などに関わらず、全ての人々が互いを尊重し合い、職場、学校、家庭、地域など社会のあらゆる分野で、個性と能力を十分に発揮し、喜びや責任を分かち合うことです。制度上の課題や「無意識の思い込み」などは依然存在します。現状を踏まえ、誰一人取り残されることなく社会に参画し、活気に満ち溢れた「明るく、にぎやか」なまちを築いていくことを目指します。



プランは市ホームページでご覧いただけます▶



無意識の思い込み (アンコンシャス・バイアス)

私たちには自分自身では気付いていない「ものの見方や捉え方のゆがみや偏り」があります。自分と異なる個性を持った人と出会ったとき、その人の善しあしを自分の基準で決めつけていませんか。

＼どうすればいいの？／

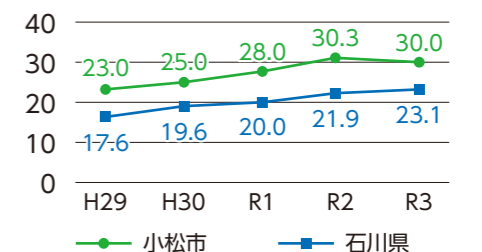
育った環境は人それぞれ、考え方も多様です。ものの考え方や捉え方が一人ひとり違うということを認識し、尊重し合うことから始めましょう。

注目ワード

女性の管理職昇進をどう思う？

▶ 女性の管理職の昇進に「賛成・どちらかといえば賛成」と回答した人は、**女性で80.0%**、**男性で71.8%**でした。
(R4市共同参画に関する市民アンケート結果より)

▶ 市・県職員の女性管理職の割合(%)



(R3男女共同参画局調べ(管理職は課長相当職以上))

データ